

施設×学校×人材C

福祉の仕事を体験しよう!

- 府社協の福祉人材支援センター（以下 人材C）では福祉の仕事を体験できるインターンシップ事業を実施しています。今回ははじめて高校とコラボし、インターンシップツアーを開催しました。
- 堺市老人施設部会（以下 部会）の協力のもと、堺市堺区にある香ヶ丘リハビリテーション高等学校の1年生34人が、4施設に分かれて福祉施設を体験。その取り組みについて、（福）東光学園特別養護老人ホームふれ愛の家 施設長の梶山尚也さん（部会副会長）に話を伺いました。

〈受入れ施設〉

- ・（福）東光学園 ふれ愛の家
- ・（福）堺福祉社会 ハートピア堺
- ・（福）上神谷福祉社会 槇塚荘
- ・（福）野田福祉社会 ハーモニー

「高校生フクシのおしごと体験」

地元で、福祉・介護をより身近に感じてもらいたいと思い、体験の受入れを決めました。今回は1年生全員の受入れでしたので、部会を通じて他の施設にも協力を募ったところ、すぐに手が挙がりました。その後、人材Cと4施設で事前打ち合わせを行い、プログラム内容を検討しました。

当日は、瞳を輝かせイキイキと行動する学生の姿に感動しましたね。「介護に対するイメージが変わった」との声を聞いて、福祉現場のやりがいや温かさが伝わったことを実感できました。

また、利用者の方は学生と関わることでエネルギーをもらうことができ、職員も学生の純粋な感想から改めて福祉の仕事の魅力に気づくこともあり、施設としてのメリットも大きいです。

受入れの工夫や学生に伝えたいこと

高校生の場合は、『施設を知る』『介護を体験する』とシンプルな体験を心がけています。

失敗を恐れず何事にもチャレンジしてほしいという思いで、今回は学生自身にプログラムの一部を考えてもら

うなど、主体性を尊重しつつも、利用者との会話がとぎれないように職員がサポートしました。

介護は人と人が関わる仕事なので、コミュニケーションや笑顔で接することが大切です。体験を通じて高校生自身が感じたことを大事にしてほしいですね。

今後も学校・人材Cと協力して、学生に職業選択の1つに福祉業界を考えてもらえるきっかけを作っていきたいです。



施設長 梶山尚也さん



レクリエーションは高校生自ら考案!



車いす体験もおこないました!!

香ヶ丘リハビリテーション高等学校

■ 学生の声

「介護」というイメージが強かったのですが、みなさんが楽しそうに過ごされているのを見て、イメージがガラッと変わりました。対応力をもっと大切にしようと感じました。利用者さんに楽しんでもらえて嬉しかったです。

■ 教師の声

「また行きたい!」不安でいっぱいだった生徒たちが体験を終え、充実した表情を見せていることに、とても良い経験を見せていただいたと実感しました。

体験を通じてクラスの雰囲気も一段と良くなり、大阪府社会福祉協議会の皆様や各施設の方々、利用者様との関わりの中で、生徒たちは思いやりの大切さを学んだのではないかと感じています。

この貴重な体験を今後の学びにも生かしていきたいと思えます。

高校生フクシのおしごと体験はコチラから

